

4/7

ポートレース大村の 収益金から寄附

市

は、東日本大震災の復興支援を目的に、ポートレース大村の収益金から日本財団へ、500万円を寄附しました。

園田市長が同財団を訪問。大震災を風化させるとなく、被災地の速やかな復興を願い、笹川会長に手渡しました。市から同財団への寄附は、これで6回目となりました。

また、今回の「熊本地震」でも、大きな被害がもたらされていることから、被災者を支援するため、4月18日に同財団を通じて、さらに500万円を寄附しました。



日本財団へ寄附

4/13

ベトナムからの視察団 と意見交換

2

020年東京オリムピックパラリンピック競技大会の、事前キャンプ地を選定するため、長崎県を視察に訪れていたベトナム社会主義共和国の視察団が、本市を訪問しました。

一行は、バドミントン競技施設として、本市のシーハットおおむらを視察。その後、市役所を訪れ、歓迎を受けました。

続けて、園田市長を表敬訪問。事前キャンプ地の誘致や、さまざまな友好関係への取り組みなどについて、和やかに意見交換が行われました。



ベトナムから視察団が訪問

4/22

市内幹線道路の 整備促進を目指して

市

内の幹線道路の整備促進を図るため、12団体で組織する「国道34号等大村市内幹線道路整備促進期成会」の総会を開催しました。

総会では、国道34号大村・諫早間4車線の新規事業化をはじめ、都市計画道路・池田沖田線や、木場スマートインターチェンジ(仮称)の整備促進など、市内の道路整備を推進していくため、官民一体となって国や県に強く要望していくことを確認しました。



国道34号等大村市内幹線道路整備促進期成会総会

4/23

年齢を感じさせない プレーに拍手!

今

年10月に開催される「ねんりんピック長崎2016」の成功に向けて、ボウリングリハーサル大会を開催しました。

本番同様、大村Jボウルを会場に、県の代表を選手とする大会を兼ねて開催。県内から、132人の選手が集結し、年齢を感じさせないプレーで観客を魅了しました。

男性の部で優勝したのは、本市の西納光治選手。秋の本大会でも活躍が期待されます。



ねんりんピック長崎2016リハーサル大会を開催